



総合計画事業の実施状況

平成26年度は西東京市第2次総合計画の計画初年度となっており、実施計画ベースの決算額は約87億6,600万円でした。平成26年度における総合計画事業の主な実施状況は次のとおりです。 ◆企画政策課 ☎(042-460-9800)

地域コミュニティ推進事業の充実

自治会・町内会などが実施する事業などへの補助制度を創設するとともに、平成24年度に策定した地域コミュニティ基本方針を踏まえ、南部地域における(仮称)地域協議体の設立に向けた検討を進めました。

事業費 …………… 290万円

待機児童対策事業

施設の運用とともに、さらなる待機児童対策として平成27年度の私立認可保育園2園および小規模保育事業1施設の開設に向けた準備を行いました。

事業費 …………… 2億2,510万円

小中学校校舎等大規模改造事業などの実施

小学校の老朽化した校舎や体育館などの計画的な改修を進めるための基本設計・実施設計・工事などを実施(4校)するとともに、小・中学校校舎などの非構造部材について、耐震化対策のための実施設計を行いました。

事業費 …………… 2億7,860万円

文化芸術振興事業の実施

文化芸術に親しめる環境づくりを進めるため、学校と市民がアートによってつながる、対話による美術鑑賞事業を小学校(8校)で実施するとともに、全校実施に向けて市民ボランティアの養成を行いました。



アートカードを使った鑑賞

事業費 …………… 430万円

健康情報普及サイト事業の実施

予防接種のスケジュールなどをメールで個別にお知らせするためのサイトを構築しました。

事業費 …………… 120万円

健康づくりの推進

健康都市連合への加盟や健康応援団の設立、健康づくりプログラムなどの提供を通して、市全体で生活習慣の改善に向けた取組を進めました。

事業費 …………… 120万円

下保谷四丁目 特別緑地保全事業の実施

市内に残る貴重な緑の資源である屋敷林の保全策として、下保谷四丁目特別緑地保全地区の用地取得を進めました。



下保谷四丁目特別緑地保全地区

事業費 …………… 6億6,930万円

環境情報の提供および環境学習の推進

エコプラザ西東京を拠点として環境講座の開催や環境情報の発信、環境意識の啓発を進めました。

事業費 …………… 430万円

ひばりヶ丘駅周辺 まちづくりの推進

ひばりヶ丘駅周辺のまちづくりを進めるため、都市計画道路3・4・21号線の整備に向けた用地取得を進めるとともに、沿道のまちづくりに取り組みました。

事業費 …………… 11億8,990万円

雨水溢水対策事業の推進

道路冠水地域などの改善のため、谷戸町二丁目1番先における対策工事のほか、保谷町五丁目地内の基本設計、田無町七丁目地内などの実施設計を行いました。

事業費 …………… 1億5,540万円

民間建築物の耐震化の促進

耐震化に対する支援として、木造住宅耐震診断や改修助成などに加え、特定緊急輸送道路沿道の建築物に対する助成を行いました。

事業費 …………… 2,830万円

都市と農業が共生するまちづくり事業の実施

当該事業による交流・体験事業や各種イベントを実施しました。

事業費 …………… 410万円

ソフトなものづくり産業の育成支援

産業ニュース「匠NAVI」の発行などによる情報発信の充実を進めるとともに、ソフトなものづくり産業への支援を行いました。

事業費 …………… 240万円

「西東京市第4次行財政改革大綱」の実施状況

「西東京市第4次行財政改革大綱」は、平成26～30年度の5カ年を計画期間として、行財政運営の自立性・持続性を確立し、必要とされるサービスを確実に提供できる体制を目指して取り組んでいます。

「西東京市第4次行財政改革大綱」の実施体系と平成26年度における財政効果の概要は下表のとおりです。

◆企画政策課 ☎(042-460-9800)

第4次行財政改革大綱の財政効果額一覧

プランの実施体系	平成26年度効果	主な取組項目
I 経営の発想に基づいた将来への備え	8,381万3千円	
評価・検証に基づく効果的・効率的な行財政運営と予算編成手法の充実	5,198万2千円	事務事業評価による事業の見直し / 予算編成業務改革(経常経費の抑制)
公共施設の量的・質的適正化および維持管理コストの適正化	332万円	みどり児童センターの市民交流施設への転用
特別会計の健全化	2,851万1千円	国民健康保険特別会計に対する一般会計からの基準外繰出金の抑制 下水道事業特別会計に対する一般会計からの基準外繰出金の抑制
II 選択と集中による適正な行政資源の配分	2億21万3千円	
行政内部の固定的な経常経費の削減	303万1千円	電力調達方法の適正化
補助金、負担金などの適正化と財政支援団体の見直し	3,052万6千円	財政支援団体の見直し(シルバー人材センター・商工会・勤労者福祉サービスセンター) 各種補助事業の適正化(高齢者事業) / はなバス事業の見直し / 都バス「梅70」系統の負担金の見直し
行政評価などによる重点施策、事業の見極めと資源配分	1億6,665万6千円	人件費の抑制(定員管理の適正化)
III 効果的なサービス提供の仕組みづくり	3,421万8千円	
民間活力の活用促進	3,421万8千円	障害者福祉事業の運営体制の見直し(さざんかクラブ) / 保育園の委託化(ほうやちよう保育園)
IV 安定的な自主財源の確保	2億1,081万6千円	
市有財産の有効活用による歳入の確保	2億891万2千円	未利用市有地などの売却(ひばりが丘北三丁目代替地、東町四丁目代替地 [※])
新たな歳入項目の創出	190万4千円	有料広告掲載の検討(広告付き自動窓口案内機導入)
その他	4,623万5千円	
	4,623万5千円	各種事務機器類の再リース
合計	5億7,529万5千円	

納税表彰式

国税の申告納税制度の普及発展に関して、永年にわたり貢献された方々を表彰する表彰式が、11月12日にルネこだいら(小平市)で開催されました。本市の表彰を受けた方は次のとおりです(敬称略)。 ◆納税課 ☎(042-460-9831)

税務署長表彰

- 増田 房子(青色申告会)
- 基井 喜代子(青色申告会)
- 増田 光邦(酒販田無)
- 大野 耕(租税教育関係者)

税務署長感謝状

- 小林 順子(納税貯蓄組合)



ごみ焼却炉の再稼働

停止していた「柳泉園クリーンポート1号炉」を、11月19日から再稼働しました。停止期間中は水銀を除去するため、減温塔内・煙道・脱硝反応塔内などの清掃を行いました。また、周辺住民の方々への安全・安心に配慮し、水銀に関する自己規制値を「0.05mg/m³N」(東京二十三区清掃一部組合と同基準)と定め、1号炉の再稼働に当たりこの自己規制値を超えることがない

か、水銀濃度計で数値を常時確認しながら立ち上げを行いました。

今後水銀濃度が自己規制値を超えた場合は、直ちに炉を停止します。今後ともごみ・資源物の分別にご協力をよろしくお願い致します。

☎柳泉園組合技術課
(042-470-1547)

◆ごみ減量推進課
(042-438-4043)